

高速道路が通過する位置は、3つの「概略ルート選定のポイント」を設定して検討し、3つのルート案を選定しました。

ル ー ト
選 定 の
ポ イ ン ト

1

安全性と信頼性の向上

●災害の危険性などを極力避けるため、大規模地すべりなどの土砂災害箇所を避ける等したルート。

ル ー ト
選 定 の
ポ イ ン ト

2

自然環境や生活環境の保全

●自然環境保全のため、県立自然公園を回避するルート。
●地域の集落を分断しないようなルート。

ル ー ト
選 定 の
ポ イ ン ト

3

コスト縮減

●ルートの延長やトンネル等の構造物を短く減らすルート。
●施工性に配慮したルート。

- インターチェンジの位置は、大雨時に土砂崩れなどの危険が高い区間（事前通行規制区間）の前後や主要幹線道路の結節点などを踏まえながら検討しました。
- 今後は、地震や津波、集中豪雨など広域的な災害に備え、避難場所や避難路などの防災機能確保も検討していきます。

各ルート帯案の比較

	Aルート	Bルート	Cルート
各ルートの特徴	ルート延長が短くなるように配慮したルートです	国道7号とのスムーズな接続に配慮したルートです	笹川流れへのアクセスに配慮したルートです
区 間 距 離	約39km	約41km	約41km
所要時間の短縮 (朝日まほろばIC～温海IC(仮称)間の所要時間)	高速道路の整備により、朝日まほろばIC～温海IC(仮称)間の所要時間が短縮します		
	26分短縮 現況 56分 → 整備後 30分	25分短縮 現況 56分 → 整備後 31分	25分短縮 現況 56分 → 整備後 31分
災害時の適応性	南北方向の道路が国道7号と高速道路の2本になり、南北の行き来が寸断されにくくなります		
いのちをつなぐ道(救急・災害時)	大雨や津波などによる通行止め規制の影響を受けなくなります		
山北徳洲会病院～ 県立新発田病院の所要時間	12分短縮 現況 76分 → 整備後 64分	16分短縮 現況 76分→整備後 60分	16分短縮 現況 76分→整備後 60分
交通事故の削減 (交通事故件数予測)	46件/4年削減 現況 109件/4年 → 整備後63件/4年	52件/4年削減 現況 109件/4年 → 整備後57件/4年	49件/4年削減 現況 109件/4年 → 整備後60件/4年
自 然 環 境	希少動植物等の生息域を通過しますが、トンネル等で影響が小さくなるよう配慮しています。	国道7号周辺を通過するため、希少動植物等に与える影響が小さいです。	希少動植物等の生息域を通過しますが、トンネル等で影響が小さくなるよう配慮しています。
沿 道 の 環 境	大型車などの通過交通が高速道路を利用するため、騒音や振動等の沿道環境が改善されます		
最寄りIC～笹川流れへのアクセス	整備後34分(24km)	整備後24分(16km)	整備後17分(11km)
インターチェンジ の利便性	一部区間では、国道7号から距離が遠くなります。	国道7号から近い位置にインターチェンジがあります。	一部区間では、国道7号から距離が遠くなります。
施 工 性	狭い県道を利用する区間があり、資材の搬入や搬出が大変です。	国道7号沿いを通過するため、資材の搬入や搬出が容易です。	狭い県道を利用する区間があり、資材の搬入や搬出が大変です。
整備効果の現れ方	Cルートより事業期間が短く、整備効果が早期に現れます。	Cルートより事業期間が短く、整備効果が早期に現れます。	トンネルなどが多く、事業期間が長くなり、整整備効果が遅れます。
事業費	約1,800～2,000億円	約1,700～1,900億円	約1,900～2,100億円

ルート全線で新しく高速道路を整備する「高速道路整備案」の3つのルート概要をご確認下さい。

○ルート延長が最も短く、他のルートより通過時間がやや短い



○国道7号とスムーズに接続し、事故の削減効果も高く、事業費が最も安価



○笹川流れへのアクセスが良好 ※笹川流れ:「朝日まほろば～ 温海IC(仮称)」間の観光地

